

## 透析患者の動脈硬化と Eotaxin

渡辺内科クリニック 三瓶時伸・斉藤浩次・山本登・渡辺幸康

【はじめに】eotaxin は 1994 年卵白アルブミンで吸入感作させたモルモットの気管支肺胞洗淨液から、高い好酸球集積能を指標として精製された CC ケモカインである。2005 年 Emanuele らは血管造影で冠動脈疾患を有する群は有さない群にくらべて、血中 eotaxin レベルが高く、1 枝病変 < 2 枝病変 < 3 枝病変の順に血中 eotaxin レベルが高く、冠動脈硬化と血中 eotaxin レベルとが正の相関性があることを Atherosclerosis に報告した。しかし、血液透析患者の動脈硬化症と eotaxin との関連性についての報告は皆無といってもよい。今回われわれは血液透析患者において、eotaxin と各種動脈硬化マーカーとの臨床的関連性について検討した。

【対象および方法】血液透析患者(HD 群)：102 例、非血液透析患者(non HD 群)：42 例について、血圧・大動脈石灰化係数(AACI)・頸動脈エコー・ABI フォルム等を測定し、一般血液・生化学検査、ELISA 法で血中 eotaxin 濃度を測定し、動脈硬化性病変・動脈硬化マーカーとの関連性について検討した。

【結果】HD 群は non HD 群にくらべて、血中 eotaxin 濃度は高値を示し、HD 群においては、DM 群、IHD 群で血中 eotaxin 濃度は高値を示した。HD 群では血中 eotaxin は SBP, PP, baPWV, AACI と正の相関を示した。また、HD 群では頸動脈プラーク有りの群が無しの群にくらべて、血中 eotaxin 濃度が高かった。また、HD 群での重回帰分析では eotaxin は AACI の有意な独立した説明因子として採択され、ROC 解析でも eotaxin が IHD を予測する上で有用であることが判明した。

【結論】非血液透析患者にくらべて、血液透析患者では血中 eotaxin は高値を示し、動脈硬化の進展度と有意な関連性が認められた。